

令和6年度 家庭科 「家庭基礎研究」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2 年 E ～ G 組 選択者
教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）	副教材等	生活学 N a v i 2023（実教出版）

1 学習の到達目標

家庭基礎で学習した内容を踏まえて、人間の健全な発達と生活の営みをより発展的にとらえ、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
前期	4	家庭科を学ぶにあたって	家庭科を学ぶにあたって	・家庭基礎を学ぶにあたって、学習の意義や内容・方法・評価について理解する。	
		第6章 食生活をつくる	1 節 日本の食文化の形成	・日本の食文化形成を知り、郷土料理について調べる。	授業プリント
			5 節 食事の計画と調理	・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。	調理実習 調理実習レポート
	5	第7章 衣生活をつくる	5 節 衣服の構造・デザイン	・小物を製作する	被服製作実習
			4 節 持続可能な衣生活をつくる	・洋服と和服の違いを考える。 ・環境に配慮した衣生活について世界の動向を学び、自分たちができることを考える	授業プリント レポート
	6	第8章 住生活をつくる	3 節 住まいを計画する	・ライフステージによる住まいの変化について考える。 ・快適な住まい方を考え、平面計画を立てる。	授業プリント 授業内考査
	7	第6章 食生活をつくる	5 節 食事の計画と調理	・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。	調理実習 調理実習レポート
	9	第8章 住生活をつくる	6 節 持続可能な住まいづくり	・住宅政策の事例について調べ、住まいの課題を考える。 ・居住問題についての法律・制度・施策を調べる。 ・住まいとエネルギー、まちづくりなどの観点から、持続可能な住まいとは何か考える。	授業プリント

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
後期	10	第6章 食生活をつくる	6節 これからの食生活を考える	<ul style="list-style-type: none"> 食品の自給率や食に関する環境問題について考える。 環境に配慮した食生活（食品ロス等）について考える。 日本の食料自給率の現状と課題について考える。 	授業プリント
			5節 食事の計画と調理	・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。	調理実習 調理実習レポート
	11	第3章 子どもとかわる	5節 子どものための社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> 子育てにかかわる社会的課題について知り、どのようなサポートが必要とされているのか考える。 子どもの未来に向けての課題解決の方法を考える。 	授業プリント
	12	第6章 食生活をつくる	5節 食事の計画と調理	・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。	調理実習 調理実習レポート
	1	第4章 高齢者とかわる	3節 高齢者の自立を支える	<ul style="list-style-type: none"> 要介護の高齢者との接し方を考える。 高齢期の生活を健康に過ごすための心がけについて考える。 日常生活の介助を体験する。 	授業プリント
	2	第10章 経済的に自立する	2節 将来のライフプランニング	<ul style="list-style-type: none"> 将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。 	授業プリント 授業内考查

3 評価の観点

知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

4 評価の方法

考查の成績、プリント・レポートの内容や取り組み状況、作品への取り組みや内容、学習活動へ参加態度を、知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点に分類し、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> 通常、授業は被服室で行います。調理実習は調理実習室で行います。授業開始に遅れないように移動してください。 授業はプリントを配布して学習しますので、管理を確実にしてください。 火気や危険物を扱います。指示に従って十分注意してください。
--